

ごみをどう思いますか？



「便利で、快適な、満ち足りた生活」その反面、私たちの生活から、毎日たくさんのごみが出ます。

ひと昔前の日本の生活では、ごみは今ほど出ませんでした。「ものを大事に使う。」「まだ使える。」「もったいない。」と言って、最後の最後まで「使い果たす」のが、生活スタイルでした。

しかし、高度経済成長とともに大量の消費物質が市場にあふれ、物や食品を「使い捨て」にするようになってから、ごみが増えはじめました。使う人が、いらないと捨ててしまった時から、物や食品はごみになります。一体、ごみって何でしょう。なぜ、ごみを減らさなくてはならないのでしょうか。一緒に考えてみませんか。

1 ごみが増えること

- ①ごみの処理は、たくさんのお金とエネルギーがかかります。
- ②ごみ処理施設の建設が大変難しくなってきました。
- ③ごみを埋め立てる場所が満杯になって、ごみの行き場がなくなります。
- ④ごみを正しく処理しきれなくなり、空気や水が汚れて、自然環境に悪い影響を及ぼします。
- ⑤自然環境が悪くなると、私たちの暮らしや生きものにも悪い影響を及ぼします。

2 松前町では、どのくらいごみが出ているのでしょうか。

平成13年度に松前町から排出されたごみの量は、14,488tにもなります。私たち1人当たり、1日約1・27kgのごみを捨てていることになるのです。そして、私たちの税金が、その処理費用として、年間約3億円も使われています。

〈松前町ごみ排出量〉

